

2020年
3月10日

No.256

さざなみ

〒520-2141
大津市大江6丁目23-24
さざなみネット
 (金融労連・全国金融産業労働組合滋賀分会)
 TEL・FAX 077-545-5154

近畿地協2020春闘学習会

仕事も組合も 常に疑問を持ち 学習し真実を知ることが大事

3月7日、京都・石長松菊園で近畿地協2020春闘学習会が開催され、関東、九州沖縄地協からの参加者を含め17人が、さざなみネットから山崎書記長が参加しました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、会場は大きな部屋で行われ、1日目と2日目に予定されていた狭い部屋に集まる分散会を、1日目に大きな部屋で全体討論会とし、1日間のみの学習会となりました。

主催者を代表して岡野議長は次のように挨拶されました。

安倍首相はコロナ対策として全国一律に臨時休校を要請したが、法的根拠のないことであり、子どものいる家庭をはじめ国民生活が混乱している。目的は緊急事態をアピールするためとも言われている。仕事も組合も生きていくうえでは、常に疑問を持ち、学習

して真実を知っていくことが大事であり、今こそ経営にもの言える組合が大事になっている。良く学習して春闘で職場の要求を実現しよう。



主催者挨拶をする岡野議長



ミ 二 水 仙 岩波 美智子さん 画



机を口の字型にした講演会

次に、関西勤労者教育協会副会長の中田進氏から「2020年春闘をめぐる情勢」と題して講演を受けました。

中田氏は、新型コロナウイルス感染防止のため、多くの行事が中止となるなか、困難を乗り越えて学習会を開いたことに心より敬意を表します。新型コロナウイルス感染症は「インフルエンザでは全国で年間1万人近くの方が亡くなっているのに比べ、死者の数ではるかに少なく、経済や商売まで大変な状況になってしまっている。騒動のしわ寄せは、常に弱者にかかってくる」として、後手後手にまわった対策や、休業補償の貧弱さ、全国一律休校などの現場の実態を無視した安倍首相の対応を厳しく批判しました。

人口東京に集中、地方は過疎加速 地方銀行の経営が厳しい 大企業の 内部留保取り崩し賃上げや中小企業へ

日本では地域別最低賃金のため、東京を中心とした賃金の高い地域に人口がどんどん集中し、地方は過疎が加速していることや、地域が荒廃し地方銀行の経営が厳しくなっている実態などを示し、政治の仕組みを変えなければ生きていけないところまで来ている。

コロナウイルス問題で、経済が大変な状況になっている今こそ、財界がこれまで貯めてきた内部留保463兆円の一部を取り崩して全ての労働者の賃上げや中小企業に回すべきだと、今春闘に向けた労働組合のたたかいの重要性を強調しました。



講演をする中田進氏

原発のない社会へ2020びわこ集会 関電原発ブラックマネーの徹底究明を 高浜・美浜の老朽原発を動かすな

東日本大震災と福島第一原発事故から9年目の3月11日を目前にした7日、「原発のない社会へ2020びわこ集会」が天津市の膳所城跡公園で開かれ500人が、金融労連の仲間9人（内さざなみネット3人）が参加しました。

新型コロナウイルス感染問題を受けて、濃厚接触の危険がある屋内イベント、マーケット、デモ等は中止され、午後の屋外イベントと集会は時間を短縮して12時30分からのおしどりマコ・ケンさんのトークと、13時30分から14時30分までの集会のみが実施されました。

原発事故の犠牲者を追悼して黙とうした後、呼びかけ人の畑明郎氏は「福島原発事故を忘れることなく、原発のない社会をつくるために頑張ろう」とあいさつ。

つぎに嘉田由紀子参院議員は「美しいびわ湖を次の世代につなぐためにも、危ない若狭の原発を何としてもゼロに」と連帯のあいさつをしました。

続いて、基調報告をした井戸謙一弁護士が、原発事故を終わったこととして、被災者支援を打ち切り、放射能汚染水の海洋放出をすす



おしどりマコ・ケンさんのトーク

妙な語りで暴露し、爆笑と拍手に包まれました。

感想 ウイルス問題で開催が危ぶまれましたが短縮して行われました。

おしどりマコ・ケンさんのトークショーは内容が素晴らしく原発事故をめぐる真実を軽妙な語りで面白おかしくわかりやすい口調で暴露し、爆笑に包まれました。

孫を連れて行ったので、会場の後方で聞いていたのですが熱気が伝わってきました。福島から栗東に避難されている佐藤勝十志さんが放射能による甲状腺がんの健康被害などを説明、無理やり福島県に人を返すのではなく、安心して暮らせる環境をつくってほしいと訴えられ、今も続く被害を止めなければと思いました。（浦谷）



参加者が作成した「原発ゼロ風」と「老朽原発動かすな」とコールする参加者